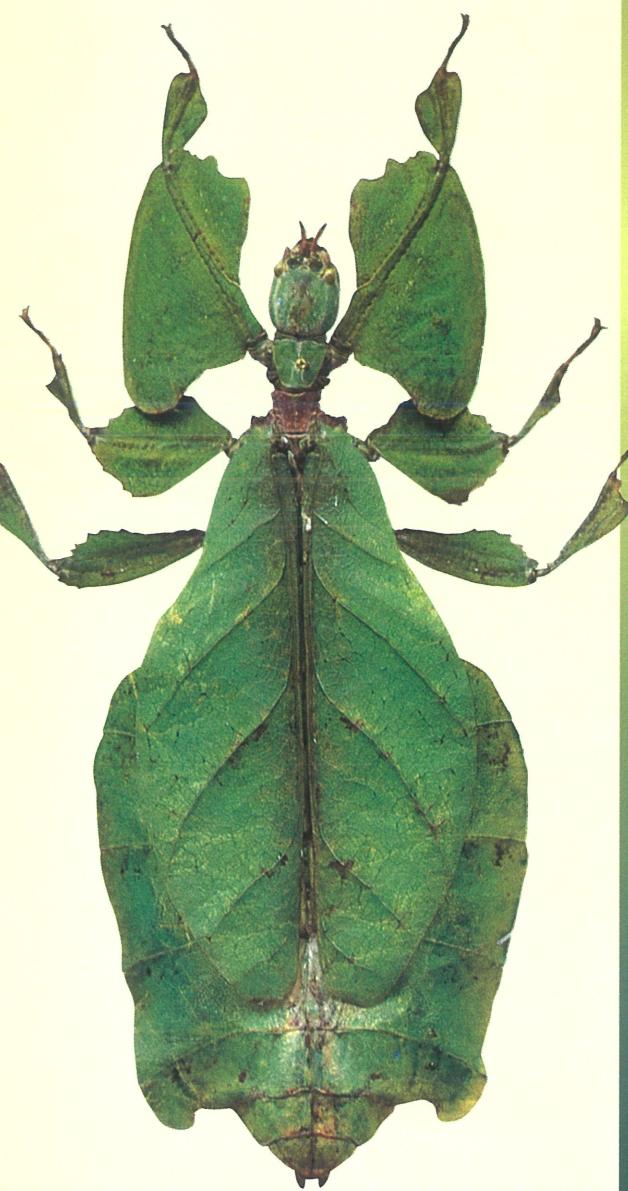


第2回企画展

1995年 4月22日(土)から

6月5日(月)まで



コノハムシ *Phyllium pulchrifolium*

体長約80mm。翅脈が葉脈のように並び木の葉に擬態する。
同種でも緑色と淡褐色のものがいて、体の色にあわせてとまる
葉の色を選ぶ。

虫の進化の申し子たち

――100万種類の姿とくらし――



■開館時間 午前9時30分～午後5時

■休館日 月曜日

(但し、6月5日㈪は開館、翌6日㈫が休館)

■入館料

小・中学校 140円(70円)

高校・大学生 420円(280円)

大人 700円(560円)

()内は20名以上の団体料金
4月29日(みどりの日)、6月5日(環境の日)は入館無料です。



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-06 茨城県岩井市大崎700番地 TEL 0297-38-2000

虫・進化の申し子たち

—100万種類の姿とくらし—

Insects! Descendants of Evolution : A Million Forms and Species

最初の昆虫は、いつごろ現れたのでしょうか。それは恐竜が現れるずっと前の、約4億年前に地球上に現れたと考えられています。現在その数は約80万の種類が確認されていますが、実際は100万を超える種が生息していると推定されています。この種の多さは昆虫だけで動物全体の4分の3をしめるほどになります。

今回の企画展では、地球上に生命が誕生してから35億年、いろいろな生活環境に適応し、様々な進化をしてきた生き物のうち、最も繁栄したグループのひとつである昆虫たちの様々な姿とその生活する環境の一端を紹介いたします。岩石や琥珀に閉じこめられた数千、数億年まえの昆虫や、現在地球上に生息する昆虫たちの姿や生活を、実物標本や巨大昆虫の動く模型、ミニジオラマなどで紹介いたします。輝くモルフォチョウや力強いゾウカブトムシ、見事な擬態を披露するカレハカマキリなどの姿をご覧になれます。

様々な形や生活様式を持った昆虫。これらの昆虫たちの驚くべき多様さや複雑さは、我々の想像をはるかに超え、新たな知識をもたらしてくれるに違いありません。



ヒヌマイトトンボ



上:琥珀の中の昆虫(ハエの仲間)



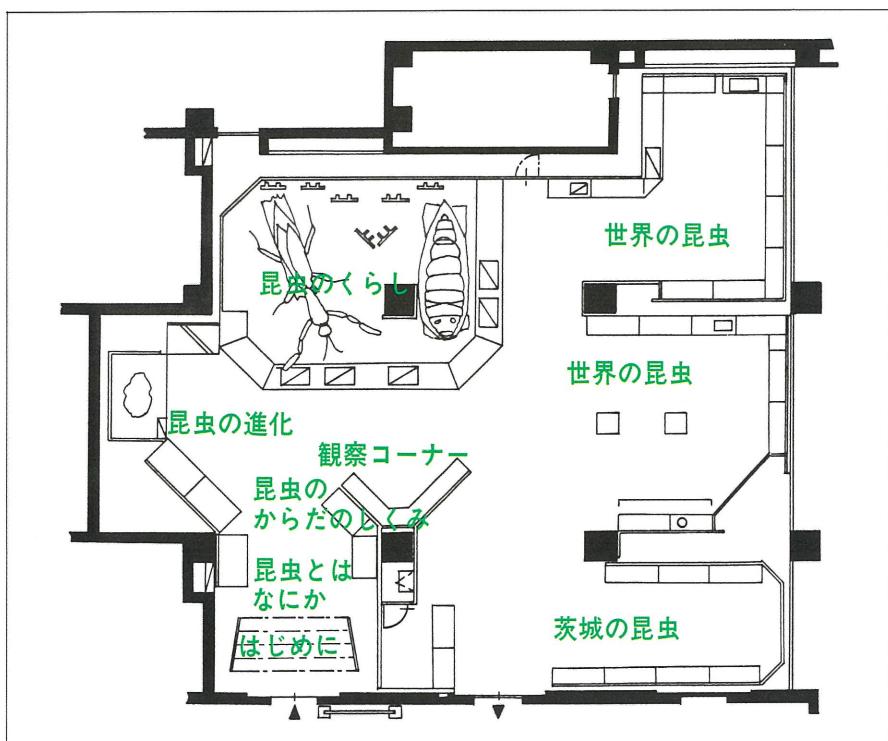
右:ニジイロクワガタ



フクロウチョウ



上:表
右:裏



■次回企画展

1995年6月27日(火)から9月24日(日)まで

「絶滅動物からのメッセージⅠ」展

内蒙古博物館所蔵品を中心として

企画展関連イベント

●新種イリオモテボタルの発見者

大場信義博士の講演会

5月14日(日)14:00～講堂・映像ホール

●インセクト・ウォッキング

4月29日(土)、5月7日(日)27日(土)14:00～